

港湾工事における代表材料規格の基準単価作成方法について  
(令和 7 年 4 月適用)

港湾工事における施工パッケージ型積算方式で標準単価から積算単価への補正を行う際に使用する代表材料規格の基準材料単価（以下、「基準材料単価」）は、原則として以下の方法による。

1. 基準材料単価は、「積算資料」「積算資料電子版」「土木施工単価」（一般財団法人経済調査会発行）及び「建設物価」「Web 建設物価」「土木コスト情報」（一般財団法人建設物価調査会発行）（以下、「物価資料」という。）の令和 6 年 4 月号または、春号に掲載されている東京地区における代表材料規格の単価の平均値を採用している。
2. 一方の物価資料にしか掲載のないものについては、その単価としている。
3. 2 つの物価資料の単価を平均する場合には、単価の有効桁の大きい方の桁を決定額の有効桁としている。ただし大きい方の有効桁が 3 桁未満のときには、決定額の有効桁は 3 桁としている。

＜例＞ 1）単価の有効桁数の大きい方を有効桁とする場合

|      |                             |      |                   |
|------|-----------------------------|------|-------------------|
| 建設物価 | 33,500 円（有効桁 3 桁）           | 積算資料 | 34,000 円（有効桁 2 桁） |
| 平均額  | 33,750 円                    |      |                   |
| 決定額  | 33,700 円（有効桁 3 桁、4 桁以降切り捨て） |      |                   |

＜例＞ 2）単価の有効桁数が 3 桁未満のために 3 桁を有効桁とする場合

|      |                          |      |                |
|------|--------------------------|------|----------------|
| 建設物価 | 560 円（有効桁 2 桁）           | 積算資料 | 570 円（有効桁 2 桁） |
| 平均額  | 565 円                    |      |                |
| 決定額  | 565 円（有効桁 3 桁、4 桁以降切り捨て） |      |                |

4. ロットに応じた単価が設定されている場合には、原則としてロットが最大の単価を使用している。賃料については、長期割引後の単価を使用している。

以上

施工パッケージ型積算基準 代表機労材規格一覧

|   | 機労材区分 | 名称・規格                       | 単位             |
|---|-------|-----------------------------|----------------|
| 1 | 機械賃料  | ラフテレーンクレーン〔油圧伸縮ジブ型〕25t 吊    | 日              |
| 2 | 材料    | レディーミクストコンクリート 〔高炉 18-8-25〕 | m <sup>3</sup> |
| 3 | 市場単価  | 型枠組立組外〔材工共・クレーン抜き〕根固ブロック    | m <sup>2</sup> |
| 4 | 市場単価  | コンクリート打設〔手間のみ・直接打設〕根固ブロック   | m <sup>3</sup> |
| 5 | 市場単価  | コンクリート打設〔手間のみ・ポンプ車打設〕根固ブロック | m <sup>3</sup> |
| 6 | 市場単価  | コンクリート打設〔手間のみ・クレーン打設〕根固ブロック | m <sup>3</sup> |
| 7 | 市場単価  | 底面工・ルーフィング〔材工共〕             | m <sup>2</sup> |